

企業と職業能力開発(Ⅱ)

— 職業訓練から職業能力開発への展開 —

職業能力開発は、従業員個々人のキャリアの展開段階に応じて教育・訓練機会をどのように提供するか、公共・民間施設のそれぞれの特徴を生かした広い分野で行い得るなど、新しい課題に直面している。

本報告書は、昨年度の「戦後における教育訓練の胎動」に引き続き、昭和40年代以降の動きを中心に、ホワイトカラー層への取り組みや、高等技術者の育成を目指して、職業訓練短期大学校を活用した企業の動きなどを、「職業訓練から能力開発への展開」として取りまとめた。

◆研究委員会メンバー

- 〈座長〉梶原 豊 高千穂商科大学 教授
〈委員〉岩崎 伸夫 労働省職業能力開発局 能力開発課長
大村 健二 元 東京都品川職業訓練校 校長
衣川 正幸 元 松下電器産業(株) 工科短期大学副校長
戸田 勝也 職業能力開発大学校 指導学科教授
中田 定士 (財)啓成会 理事長
宮森 繁信 元 中央職業能力開発協会 理事
〈事務局〉菊田 顯 (財)雇用開発センター 常務理事
片岡 博 (財)雇用開発センター 研究調査部長

◆目次

- I. 産業構造転換期の職業能力開発
- II. 高度経済成長下の職業訓練行政
- III. 国際技能競技大会への参加と日本開催
- IV. 公共職業能力開発施設における在職者訓練の足跡
- V. 東京都における高年齢者職業能力開発事業の展開
- VI. 施工技術の革新と建設塗装工事業における新しい技能者像
- VII. 企業内認定職業能力開発短期大学校の製造現場との連携について
- VIII. 中小企業の人材開発 — グローバリゼーション・産業構造転換の進展と中小企業の人材開発への取り組み

